

快適防犯どあロックガード

ドア・扉用補助錠 外開き専用

ダイヤル式



暗証番号
設定可能

番号は
10000
通り



ドア・扉に

取付方法は
このQRで!
台紙の内側
も見えます



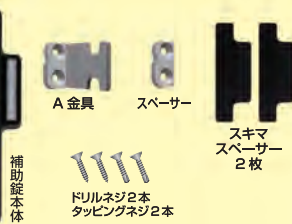
金属製・木製に取付可能
(2タイプの取り付けネジを付属)



外開き

ロッカー・物置
倉庫・引き出し

セット内容



ロッカーに

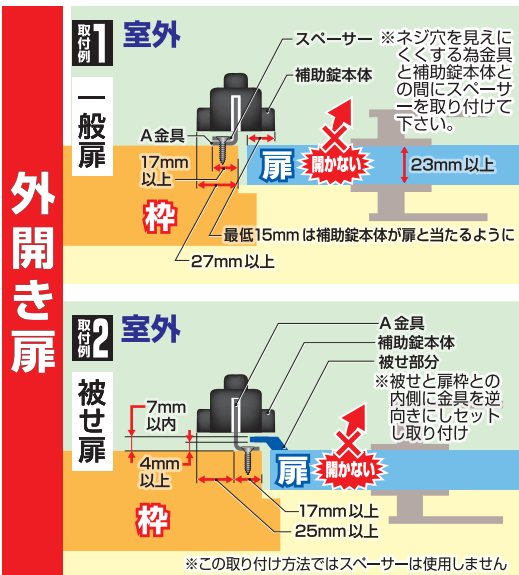


被せ扉にも

外開き扉の後付け錠として最適!

被せ部分

注 一般扉も被せ扉も取付箇の寸法以外の場合は
取り付けできませんのでご注意ください



外開き扉

詳しいご使用方法は内側の面に書いてあります。

要保管

ご使用上のご注意

- 分解、改造をしないで下さい。また、投げたり乱暴に扱わないで下さい。故障の原因となります。製品の修理はお受けできませんのでご注意ください。● 通常の使用状態で、暗証番号が勝手に変わってしまうことはございません。番号変更時の製品の扱い方、保管方法には十分ご注意ください。番号のお忘れ、お問い合わせに関しまして、当社では一切対応できません。● 取り付け、取り外しの際、製品の落下には十分ご注意ください。取付時及び本体落下によるケガ、製品の破損、建物へのキズなどには一切の補償・弁償は行いません。● 取付金具の先端や室内側部分で身体にキズを負ったり、衣類をキズ付けたりしないようご注意ください。● 侵入防止に絶対的な錠ではございません。犯罪、トラブル等が発生いたしましても当社は一切の補償、弁償等を行いません。ご理解頂きますようお願い致します。● 湿気の多いところ、水のかかるところではご使用になれません。● 防水加工はされておりませんので十分ご注意ください。● 開閉スイッチが「開」の位置にある時はダイヤルは回りません。● 暗証番号を頻繁に変更すると番号が分からなくなる事があるのでお気を付けて下さい。尚、番号不明による返品は一切お受け出来ません。● 解錠状態(暗証番号を合わせた状態)で補助錠を屋外側取付金具にセットしたり、室内側で保管したりしないで下さい。暗証番号のまま保管していると、第三者に番号が分かり不正解錠の原因になったり、暗証番号を変更され解錠出来なくなる恐れがありますのでご注意ください。● 「暗証番号を記入スペース」に記入後、取扱説明書と一緒に大切に保管して下さい。● 「設定」レバーは「暗証番号が合って」「開閉スイッチが閉になっている時」しか右には移動しません。● 商品改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。● 扉によっては、記載した取付方法でも取り付けできない場合があります。取り付け環境に応じて、工夫を行ない施工作業を行って下さい。● 金具をネジ止めする際、必ず仮止め状態で補助錠のセット・扉の開閉・施錠が行なえる事を確認してから、ネジ止めを行なってください。

△ 本商品を室内への閉じ込め等・犯罪行為には絶対に使用しないで下さい。



材 質
補助錠本体：アルミダイカスト(塗装仕上)
スパースー：ステンレス
取付金具：ステンレス
取付ネジ：ステンレス
スキマスパースー：2枚

N-1074 ダイヤル



4 909314 110671

発売元 お問い合わせ先
株式会社 ノムラテック
〒544-0012 大阪市生野区箕西4丁目4番26号
TEL.(06)6756-7301 FAX.(06)6756-7311
URL <http://www.nomuratec.co.jp>

MADE IN CHINA

セット内容



暗証番号の可変方法

※暗証番号は開封時「0・0・0・0」に設定してあります。

- ダイヤルを「暗証番号」に合わせ「開閉スイッチ」を「開」にします。
- 設定レバーを右上にスライドさせます。
- 好きな暗証番号4ケタを設定します。設定した番号は下記のスペースに記入後、大切に保管して下さい。※画像は「1・2・3・4」に設定してあります。
- 設定レバーを左下(元の位置)に戻して設定完了です。

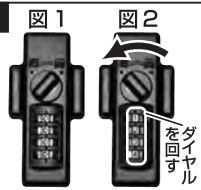
●番号変更後及び使用時には「設定レバー」に必ず左下にしておいて下さい。設定レバーが右上のままですと、開閉スイッチが動かず使用できません。

施錠・解錠の仕方

施錠

- 補助錠本体の「開閉スイッチ」を「開」にして取り付け金具にセットします。(図1)
- セット後、「開閉スイッチ」を「閉」にして全てのダイヤルを回して施錠完了。(図2)

※施錠後、本体(補助錠)が外れないかご確認下さい。
※「開閉スイッチ」を「閉」にするだけでは施錠状態にはなりません。ダイヤルを回さないと施錠状態になりません。



解錠

- ダイヤルを回して暗証番号に合わせる。
- 「開閉スイッチ」を「開」にして解錠完了。

番号の保管を!

●新しく変更された暗証番号は右側スペースに油性マジック等で変更番号を記載しておくこと管理に役立ちます。



●ネジは2種類付属されています。

取付部分の材質	ドリルネジ ミノ付き	タッピングネジ ミノなし	下穴加工
鉄製	○	—	※1
アルミ製	○	—	—
木製	—	○	—

※1.鉄製(スチール・ステンレス等)への取り付けは下穴加工が必要で、使用される電動ドライバーは、取り付け環境に応じた性能の物をご使用下さい。取り付けは専門の施工業者等に依頼される事をおすすめします。

取付金具の種類

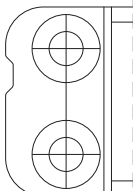
	A金具	スペーサー
取付金具		
用途	外開き扉で使用	金具の高さ調整、スキマを埋めるのに使用

※台紙記載の「取付例」は、あくまで一般例になります。ネジ止めで取り付けを行いますので、必ず取り付け状況をご確認の上、確実に取り付けが行える事を確認してから取り付け作業を行うようにして下さい。

A金具取付用型紙

※扉と枠の向きを合わせてお使い下さい

枠側



ここでカットして金具を「枠の端」に合わせる

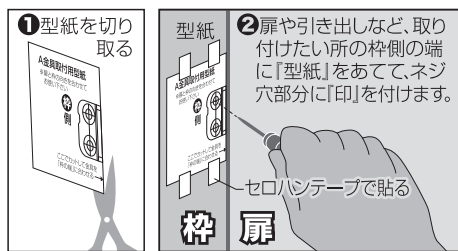
取付用型紙は、「取付例1」の場合のみご用意しております。その他の取り付けに関しては、表面取付例イラストを参考に環境に応じた施工を行って下さい。

取付方法(外開き) ※A金具取付用型紙を使用

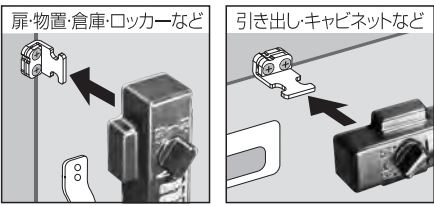
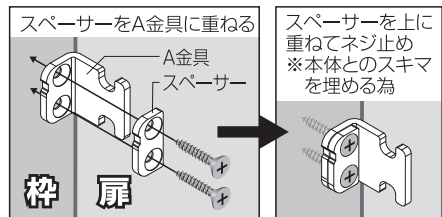
★ここでの取り付け説明は一般的な取り付け例「取付例1」の説明になります。被せ扉・その他の取り付けに関しては、表面取付例イラストを参考に環境に応じた施工を行って下さい。

※扉によっては記載した取付方法でも、取り付け出来ない場合があります。取り付け環境に応じ、工夫を行い施工作業を行って下さい。

※金具をネジ止める際、必ず仮止め状態で補助錠のセット・扉の開閉・施錠が行える事を確認してからネジ止めを行って下さい。



③型紙を外しA金具を仮止めして扉の開閉・施錠に問題が無い事を確認の上、A金具の「上」に「スペーサー」を重ねてネジ止めを行って下さい。(注1)



(注1)多様な環境にて取り付けが行えるように、A金具に補助錠本体をセットした際、本体とA金具のネジの締め付け面との間にスキマがあります。補助錠施錠時はネジ穴が隠れますので、スキマが気にならない場合はA金具を枠に取り付け時、スペーサーはご使用にならなくても結構です。

スキマスペーサーについて

補助錠とドアとの間に隙間が大きい場合は付属の「スキマスペーサー」を補助錠のドア側に当たる面にご使用下さい。本体裏の左右にのびた「ドアの当たる部分」へ、ドアの開閉方向に合わせて左側・右側確認の上貼って下さい。

